

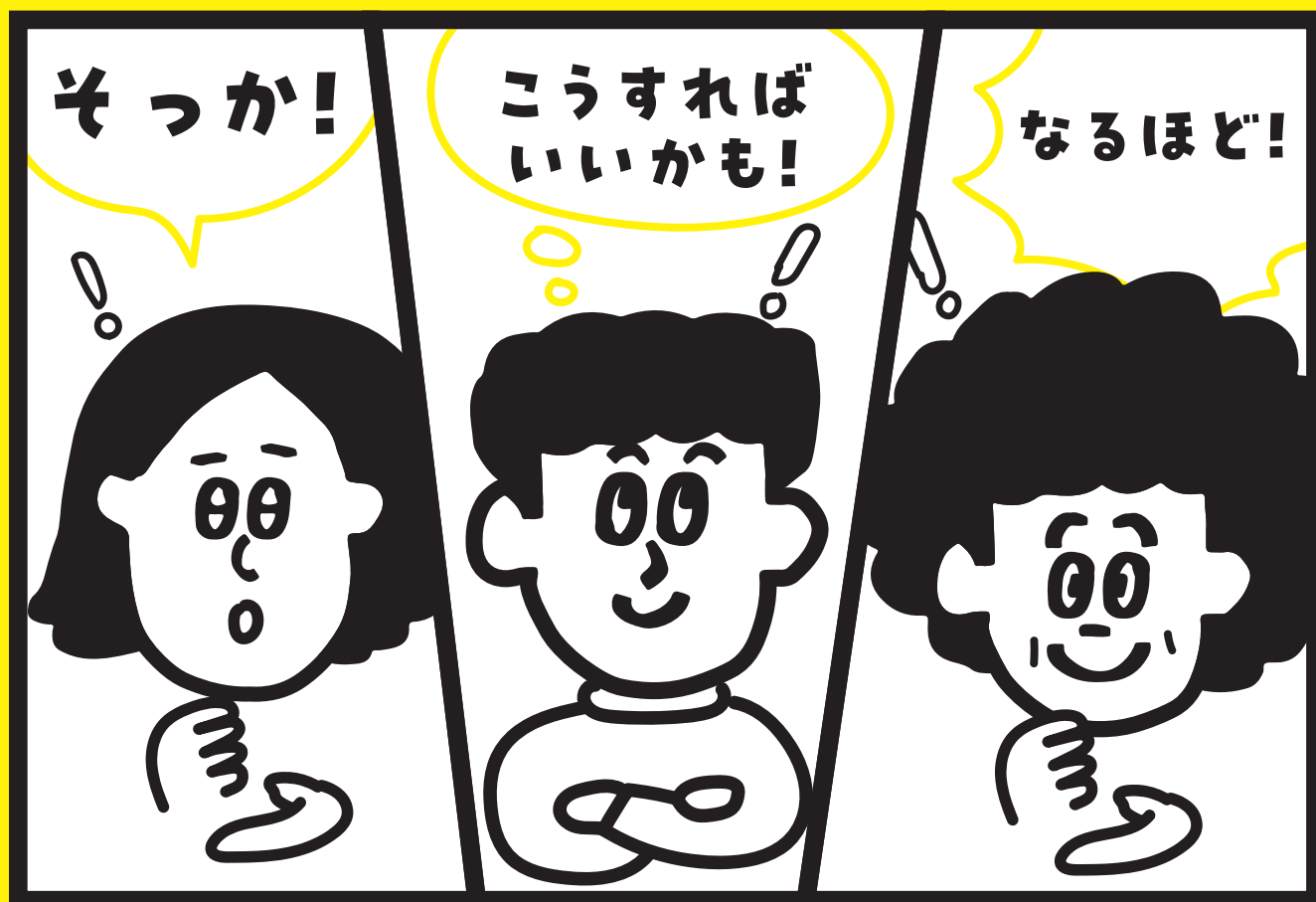
まんがナラティブ



認知症



共感トレーニング



講座のねらい

地域で暮らす方を対象に
正しい認知症の理解を深め
認知症の人を地域で包摂するまちづくりを
参加者が考えます。認知症の当事者に
寄り添いながら、適切な判断や言動の
実践を目指した思考トレーニングです。

〈受講者の例〉

認知症サポーターステップアップ講座
自治会、デイサービスなどの
福祉施設、飲食店など接客業の
みなさまにご活用いただけます。

講座の特徴

- 1 認知症基本法が示す理念に触れながら、認知症の基礎知識と当事者の尊厳を守る取り組みをコンパクトにまとめた内容です。
- 2 文章では理解しにくい介護の実例を、まんがを使って想像力豊かに読み解くことができます。
- 3 ワークでは参加者がさまざまな意見やアイデアを出し合いながら、当事者や家族、支援者などの視点をふまえつつ、前向きな課題解決につながる共感ポイントを探ることができます。

企画・実施



ComBOARD

特定非営利活動法人 認知症サポートグループ

まんがナラティブ×認知症 共感トレーニング

講座

0:00～0:50 認知症の基礎知識①

0:50～1:00 休憩

1:00～2:45 まんがナラティブを使ったワーク②

2:45～3:00 グループ発表

(講座全体で3時間を想定した場合の時間配分です)

①認知症の種類、対応の仕方、認知症高齢者数の推移、国や自治体の施策や民間企業の取り組みなど、認知症に関する基礎知識を学びます。「認知症=人生の終わり」ではないことを理解し、当事者主体の適切なサポートによって住み慣れたまちで自分らしく暮らし続ける選択肢を考えます。

②4～5人のグループに分かれてワークを行います。ポスターのまんがを見ながら、参加者がそれぞれの視点から事例を読み解き、グループで事例の状況を整理します。次に、それを踏まえて「そこにはどんなニーズがあるのか?」を導き出し、ニーズを満たすアイデアを考えます。まんがは徳島大学i.school特任講師の玉有朋子さんが聞き取り調査した内容を描写しています。

※講師は社会福祉士、介護福祉士ほか、介護・福祉の有資格者が行います。

①認知症の人は環境が変わると大きなストレスに



ワークで使うまんがの例

2025年度実施費用(参加者30人の例)

①講師料 50,000円

②配布資料 10,800円

内容:テキスト200円×30人= 6,000円

ワーク配布物(ポスター、付箋)800円×6班=4,800円

※5人のグループが6班を想定

③交通費 兵庫県西宮市～現地往復

総費用は①+②+③の合計(別途消費税がかかります)となります。



2025年7月に大阪府立淀商業高校であった共感トレーニングの様子

ONBOARDについて

2023年11月、兵庫県西宮市で設立。理事長は社会福祉士の山本雅彦。朝日新聞社で写真部長、徳島総局長などを経て、2014年、社会福祉法人朝日新聞厚生文化事業団大阪事務所長に就任。両親が認知症になり介護を経験したことで、認知症の人や家族への支援は認知症の正しい理解が不可欠であることを痛感すると同時に、認知症は大きな社会課題と認識し様々な事業を手がけた。その後、認知症フレンドリーなまちづくりを目指す活動をより柔軟に展開するために特定非営利活動法人(NPO法人)を立ち上げ、共感トレーニング、認知症マフワークショップ(編み物を通じて認知症の人を支える取り組み)、認知症の講演会などを企画・運営している。2023年3月から朝日新聞社の認知症とともにあるウェブメディア「なかまある」で「認知症と共にある町探訪記」を連載。

開催の日時や実施時間、費用などは直接メールが電話でお問い合わせください。

特定非営利活動法人 認知症サポートグループ ONBOARD

電話 070-7777-8010(平日10:00～18:00) メール mail@onboard.or.jp



ONBOARD

特定非営利活動法人 認知症サポートグループ

WEB SITE

